

建物の耐震安全性診断システムの実用化に向けた取り組みについて

2021年12月29日に当社ホームページにて「建物診断システム「V-Facility」の実証実験を開始」とお伝えした取り組み内容について、2022年5月27日の中部経済新聞の紙面で取り上げられましたのでご紹介します。

このシステムは、当社と中部電力グループのIT企業である株式会社中電シーティーアイ（本社名古屋市東区東桜1丁目3番10号、三澤太輔社長）との協業により構築した地震発生時の建物安全性を可視化するシステムで、無線加速度センサーを用いて、地震発生時などで建物の被害を即時に定量的に計測、分析し、被災時の建物安全性の確認を行い、生産現場などでは短時間に生産再開に向けた判断材料を即時メールで通知提供することが可能となるものです。

現在、本システムを建物や工場に設置して実証実験を行いデータ収集、検証を行っているほか、橋梁など社会インフラの耐久性診断にも活用すべく検討を進めています。

本件の実用化に向け進捗がございましたら、当社ホームページなどで報告をいたします。

中部経済新聞記事 : <https://www.tokai-ele.com/topics/2022061702.pdf>

12/29付 前回お知らせ : <https://www.tokai-ele.com/topics/20211229.pdf>

(照会先：マーケティング本部 システム推進部

伊澤 清 e-mail: kiyoshi.izawa@tokai-ele.com TEL:052-261-3219)